

月刊【B&S通信】号外

(URLは全てクリックでリンクされています)

渋谷公園通りの【New BODY&SOUL】

この秋の移転と新装開店をご案内いたします。

BODY&SOUL オーナー 関京子

●
いつも BODY&SOUL にご来店いただき応援してくださって、誠にありがとうございます。またコロナ禍においては、クラウドファンด์はじめ、様々な温かいご支援や激励のお言葉をいただき皆さまには深く感謝いたしております。

さて、BODY&SOULは、表題の通りこの秋から渋谷に移転し、新たな営業形態で新たな挑戦を行う決心を致しました。

●
新店開店はこの秋10月10日の予定で、ただいま新装工事を行っています。9月20日(月)までは、これまで通り南青山で営業致します。約30年間ここで毎夜行われ多くの思い出を残したステージも、あと1ヶ月ほどです。

9/20(月)以降は、ピアノやPA機材など移設工事のため夜のライブステージはお休みさせていただきます。ご了承ください。以下、移転の趣旨と経緯、および新店舗の詳細など、ご案内申し上げます。

●
新宿で産声を上げた BODY&SOUL は、今日まで

47年間、六本木、北青山、そして現在の南青山と何度か場所を変え営業を続けてまいりました。30代そこそこからオーナーとして店を切り盛りしてきた私も、齢い80。身体も頭もすっかり老いて、ここ数年は老骨に鞭打ち毎夜お店に出ていい音楽と皆さまに助けられながら、ここまで頑張っただけです。

●
バブル崩壊以降、失われた20年とも言われる日本経済の長期低迷、またリーマンショックや東日本大震災の際には、世の中とともに人々のライフスタイルが大きく変わり、そのたびにジャズファンも高齢化し減少の一途をたどってきていました。当店としては、新たなニーズに様々な工夫で苦境を乗り切ってきました。が、この世界パンデミックは、小さなジャズクラブにも大きな厄災としてふりかかり、僅かな公的営業補填の中、時短営業や酒類自粛を強いられ、お店の存続は風前の灯火、という状態でした。

●
そんな折、ある物件の話が飛び込んできました。事情のある物件でしたが座してこの状況を受け入れることを潔しとしない、そんな私の人生観も手伝って、このほど新たな挑戦をする決心を致しました。私に残された時間があまりない中、ジャズを愛しBODY&SOULを支えてきて下さった支援者や関係者のお力を頼んで、新たに大きな債務を負い、新たな地平で「ライブジャズ文化」

の持続可能性を追求したいと思います。



場所とアクセス：

渋谷からNHK放送センターに続く渋谷公園通り。
新パルコの先およそ50m、渋谷公会堂の手前。
交通アクセスのハブ駅として大規模な再開発が進む渋谷駅からは「濡れたって3分」若者文化の発信地として世界に知られると同時に、近年は渋谷ビットバレーとも言われIT企業の集積地として大人の街として変貌を遂げつつある渋谷。かつては新宿と並んでジャズ喫茶が軒を並べていた「音楽の街」でもあり、Bunkamuraができてからは30年、芝居小屋・シネコンと映画館・ライブハウスなど「文化と芸術の街」でもあります。今後もファッションとエンタメの発信地としてますます発展していくと思われまます。



営業は昼・夜 兼行：

昼は「Jazz Saloon and Cafe」

全く新しい概念の「令和のジャズ喫茶」です。

モーニング・ジャズタイムが午前の3時間、

イーブニング・ジャズタイムが午後の3時間、

正午前後はランチタイム

(昼の営業は8時から17時までを予定)

ジャズタイムには、バリスタ(珈琲専門職)がいるコーヒーと軽食をサーブ。ランチタイムには、独自の焼き立てパンをメインに、和洋のグルメランチを提供します。



昼のコンセプトは：これまでになかった「全く新たな概念のジャズ喫茶」。薄暗い紫煙の中で、黙々とLP盤を聴いた昭和のジャズ喫茶とは完全に趣を異にし、スマホでSNSで、会話が自由に飛び交う明るいWi-Fi空間です。

高音質で流れるジャズを聴きながら、そこに流れているLP盤の話題やジャズ談義がグループメディアで活発に展開されます。ジャジーで落ち着いた空間の中、最高品質の生豆から焙煎されたスペシャルコーヒーを味わい、ジャズを聴きながら、楽しいバーチャルな会話時間を過ごしていただく「ジャズサルーン」です。



ターゲットは：アフターコロナに社会を牽引し世の中の潮流となるだろう「Alone Together な若者たち」(Alone Together =リアルな接触なく繋がる "孤独でも一緒"の人たち)。マイルスもコルトレーンもよく知らないけど、ジャズって素敵な音楽だよな…そんな若者たちに、ライブジャズとジャズの奥深い世界への入り口を提供します。もちろん年配の方も、老いも若きも、男も女もカップルもファミリーも、ジャズ初心者もコアなジャズ好きも、昼夜の別なく豊かな人生の「サードプレイス」としてご利用いただけます。



夜はもちろん「Jazz Club BODY&SOUL」

New BODY&SOUL には、今の南青山店が、より高級感を加えてほぼ再現されます。広さは青山店のほぼ倍。ステージとライブ空間の収容人数最大100席+。昼/夜の空間が上手くセパレートされた仕様で、昼夜とも客席数は70席前後。

(そう「new BODY & the same SOUL」です)

●
夜のコンセプトは：ライブジャズをコンサート会場でしか知らない平成育ちの若者世代に真の「ライブジャズ文化」を定着させたい。演奏者と聴き手が身近に接し、あるいは飲み食いしながら客同士も同じ空間で親しく感動を共有する。いま小規模なライブジャズ店にしかないライブジャズの魅力、ロックにもポップスにもない、そんな「ライブジャズならではの文化」を継承発展させたいと思っています。

●
今ジャズファンは、ボーカルファン・インストファン・特定の楽器や特定の演奏者ファン…とマニアックに細分化されて存在し、ライブ店もそれに対応した出演スケジュールが組まれます。ジャズへの入り口の間口は、狭まるばかりです。New BODY&SOUL が目指すのは、ここに来れば…トリオ演奏に色んな楽器が加わったり、コンボにボーカルが入ったり、時にはタップダンスが入ったり…毎夜ライブジャズが多様にジャジーに楽しめる店でありたいと抱負を温めています。

お陰さまで「ライブジャズ店の老舗」と言われ、世の中にそこそこ知られるような存在となったBODY&SOULは、今こそ業界のイノベーターとして新しい時代の「ジャズ人口の拡大再生産」を追求すべきではないか。ジャズに助けられジャズと共に生きてきた私の、ジャズ人生最後の恩返しと考え、もっぱらジャズが日夜流れるライブ店としては多分世界で初めての昼夜営業。そんな新しいビジネスモデルへの挑戦でもあり、そのための渋谷移転でもあります。



新店舗の店内の様子や詳細は、追ってHPなどでご案内致します。皆さまのご理解とこれまで以上のご支援、重ねてお願い申し上げます。

緊急事態下ではありますが、記憶に留めるためにも残り少ない南青山店でのライブステージ、皆様のお越しをお待ちしています。また諸般の事情により、関係者の方々にも48周年の冒頭を期しての突然のご案内になりましたこと、ご容赦くださいませ。



【HPでのご案内】

お知り合いやご友人にご案内される方は
↓この「新店移転の特設HP」をご案内ください。

<https://www.bodyandsoul.co.jp/new-bs>

BS通信次号253号(8月)の定期配信はお休みです。



号外配信ですが、BS通信としてはやはり恒例の

「今号の You Tube から」をお届けしない訳には
いきません (笑) 新店にちなんだスタンダード曲
を2曲。新店は昼夜営業、でまずC.ポーターの
♪ Night and Day

エラ・フィッツジェラルドのボーカルでどうぞ。
エラってやっぱりいいですね。

<https://is.gd/J9d9RZ>

新店の昼のターゲットイメージとしてあげた曲
アーサー・シュワルツの♪ Alone Together
この曲も多くの演奏家によって演奏されていて
どれにするか迷いますが…

私の好きなケニー・ドーハムのバラードで

<https://is.gd/FfwQyV>

新店の Wi-Fi 空間で「私はこの演奏が好き～」
なんてジャズ談義が弾むといいですね。

===

このメールは、メンバー登録された方、ネット
予約いただいた方、当店ご出演者と関係者の方
にも配信させて頂いています。

配信停止・アドレス変更・宛先名変更…は、

staff@bodyandsoul.co.jp にご一報下さい。

★この delivery@~ は配信専用です。

===

東京南青山 BODY&SOUL

〒107-0062 港区南青山6-13-9

TEL.03-5466-3348(3pm~)